

2. 調査・診断

2.1 事前調査

事前調査は、主として以下に示す調査を実施することにより、成形板のアスベスト含有の有無および経年における補修・改修の履歴を把握することを目的として行う。

- (1) 保管設計図書による成形板に関する調査
- (2) 現在までの保全記録、過去の補修・改修等の記録の調査

2.2 1次調査・診断

- (1) 事前調査で成形板にアスベスト含有の有無が確認できなかった場合に、1次調査・診断を行う。
- (2) 1次調査・診断は、現地で試料採取を実施し、アスベスト含有の有無を機器分析によって確認する。
- (3) 1次調査・診断は、アスベストの分析に関し専門的な知識を有する者が行う。
- (4) 1次調査・診断の結果、成形板にアスベストが含有することが確認された場合は、2次調査・診断を実施する。

2.3 2次調査・診断

- (1) 2次調査・診断では、アスベスト含有成形板の表面劣化度を判定する。
診断方法は、以下の3種類とし、主としてa. 外観目視法にて行う。
 - a. 外観目視法
 - b. 電子顕微鏡法
 - c. 分散染色法
- (2) 無塗装板の外観目視法による判定基準は表 2.1、見本写真は、表 2.3 による。
塗装板の外観目視法による判定基準は表 2.2、見本写真は表 2.4 による。
- (3) 2次調査・診断結果に基づく措置は、表 2.5 による。

表 2.1 表面劣化度判定基準（無塗装板）

表面劣化度	a. 外観目視法	b. 電子顕微鏡法または c. 分散染色法
Ⅱ	表面はセメントに覆われていてアスベスト繊維は認められない	アスベスト繊維は認められない
Ⅲ	表面劣化が認められセメント部分から一部のアスベスト繊維の露出が部分的に認められる	アスベスト繊維の付着が部分的に認められる
Ⅳ	表面層に多くのアスベスト繊維が露出している	アスベスト繊維の付着が認められる

表 2.2 表面劣化度判定基準（塗装板）

表面劣化度	a. 外観目視法	b. 電子顕微鏡法または c. 分散染色法
Ⅰ	表面が塗膜に覆われている	アスベスト繊維は認められない
Ⅱ	塗膜の一部にはがれ等が認められる。アスベスト繊維は認められない	アスベスト繊維は認められない
Ⅲ	塗膜のはがれが目立ち、アスベスト繊維の露出が部分的に認められる	アスベスト繊維の付着が部分的に認められる
Ⅳ	塗膜が認められず、表面層にアスベスト繊維が露出している	アスベスト繊維の付着が認められる

表 2.3 表面劣化度判定 見本写真 (無塗装板)








表面劣化度	a. 外観目視法	
II	 <p data-bbox="475 640 660 674">スレート小波板</p>	 <p data-bbox="914 640 1099 674">フレキシブル板</p>
III	 <p data-bbox="475 1016 660 1050">スレート大波板</p>	 <p data-bbox="914 1016 1099 1050">フレキシブル板</p>
IV	 <p data-bbox="475 1393 660 1426">スレート小波板</p>	 <p data-bbox="914 1393 1099 1426">スレート大波板</p>
	 <p data-bbox="475 1760 660 1794">スレート小波板</p>	

表 2.4 表面劣化度判定 見本写真 (塗装板)



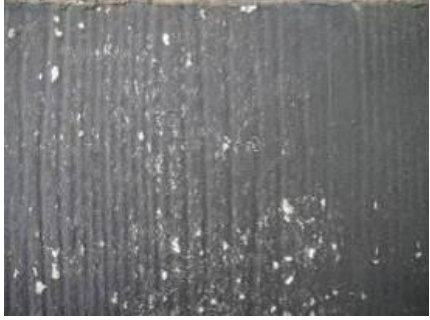




表面劣化度	a. 外観目視法	
I	 <p data-bbox="424 640 708 674">住宅屋根用化粧スレート</p>	 <p data-bbox="860 640 1144 674">住宅屋根用化粧スレート</p>
II	 <p data-bbox="424 1016 708 1050">住宅屋根用化粧スレート</p>	
III	 <p data-bbox="424 1391 708 1424">住宅屋根用化粧スレート</p>	 <p data-bbox="884 1391 1168 1424">住宅屋根用化粧スレート</p>
IV	 <p data-bbox="424 1765 708 1798">住宅屋根用化粧スレート</p>	 <p data-bbox="860 1765 1144 1798">住宅屋根用化粧スレート</p>

表 2.5 2次調査・診断結果に基づく措置

表面劣化度	2次調査・診断結果に基づく措置
I	経過観察を継続するか、予防保全を重視する場合は通常の塗装による改修工事を行う。
II	アスベスト繊維が飛散しないよう留意して塗装による改修工事を行う。
III	アスベスト繊維が飛散しないよう留意して塗装による改修工事を行う。
IV	アスベスト含有成形板の交換、除去を行う。